

砂糖工場 火災！ - 西日本防災システム

2013 10 31

10月31日ブラジル南部の**砂糖工場**で大規模な火災がありました。

この火災により**30,000トン**の砂糖が溶け出し、解けたキャラメル状態となって町に流れ出したようです。

住民のうち20人がこの**甘くて熱い**液体から避難しましたが、このうち4人は**甘くて熱い**液体によりヤケドを負ったようです。

消防隊をはじめ関係者は土嚢やポンプを使って**甘くて熱い**キャラメルを防ごうとしたそうですが、運悪く飲み込まれてしまった家屋があるようです。

出火原因は、工場の搬送用のベルトコンベアから何らかの理由で火花が飛び、それが保管していた砂糖に燃え移ったようです。

工場関係者は次のように言っています。「砂糖は決して有毒ではありませんが、川に流れ込むと魚にとって有害となります。すでに15kgほどの魚の死骸が回収されています。」 そうですよ！ 甘い物好きの魚は聞いたことないですね！

被害総額は**1億3000万ドル(128億円)**にもなるのだそうです。



西日本防災システム
NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ 